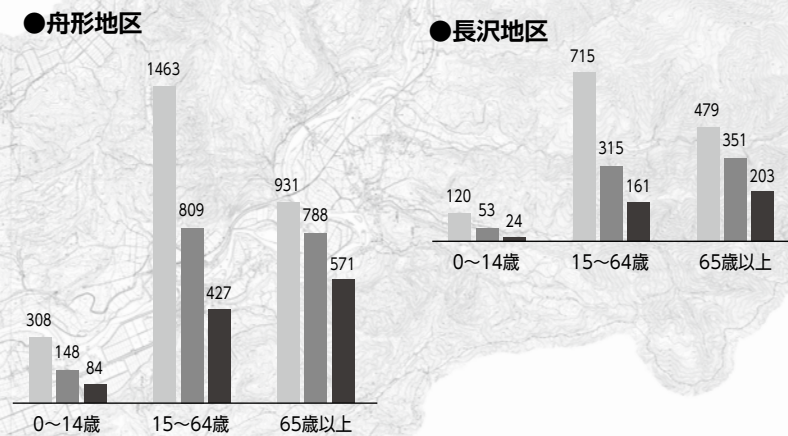


人口減少だからこそ

～官民協働・地域間連携による
住民主体の地域づくり推進事業～

除雪は大丈夫？



若い人が減っている

グラフ
舟形町地区別人口統計【年齢3区別】
国勢調査2000～2015年のデータからの独自推計

人口減少と住民自治

舟形町の地域づくりは各町内会を中心とした住民自治が展開され、その組織のもとに地域資源の保全活動や、地域伝統行事などの保存継承を行なっています。この体制がこれまでの地域づくり、ひいては舟形町の形成に大きな役割を果たしてきました。しかしながら、地域を取り巻く状況は、少子高齢化、人口減少、地域コミュニティ意識の希薄化など厳しい状況にあります。

町では「互助・共有・自立による協働のまちづくり」という、「舟形町総合発展計画（第6次舟形町基本構想）」の基本目標に基づき、まちづくりを推進してきました。なかでも、「地域づくり総合支援事業」、「地域協働事業」を実施することで、住民が主体となって、地域の特色を活かした地域づくりに取り組む仕組みができました。

さらに、住民主体の協働のまちづくりを推進する次のステップとして、地区ごとに地区計画をみなさんの手で作成していただきたいと考えています。そのために、まずは町民アンケートを実施することになりました。

アンケート調査へ ご協力ください。

町民アンケートは、現在または今後想定される、地域の課題や困りごとを共有し、それらを解決するための新たな方策を探っていくものです。これからの地域づくりに対して、みなさんの思いをお寄せください。

対象は舟形町に在住する中学生以上の方で、10月中の実施を予定しています。主な内容は次のとおりです。

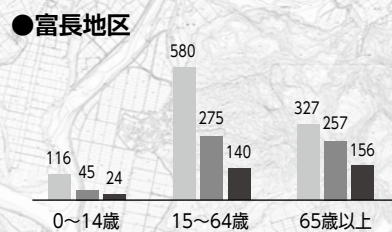
- 生活の中で困っていること
- 将来、困っていくと予想されること
- 地域の維持・継続
- 地域の魅力
- 地域活動への参加
- 地域が取り組む必要性があるもの
- 今後の定住、移住
- 外出状況
- 除雪状況

官民協働・地域間連携による 住民主体の地域づくり推進事業

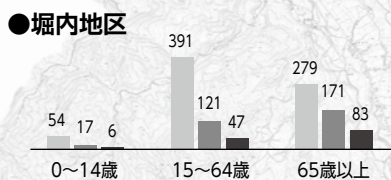
この取り組みは、平成31年度までの4年間、地方創生推進交付金を活用し、山形県や中間支援団体と「中間支援プラットフォーム」を構築するものです。集落カルテを作成するなどして、地域運営組織の形成を目指します。

- ▼問い合わせ／
舟形町まちづくり課
☎(32)2111(内線356)
舟形町集落支援員
堀内・富長地区 ☎(33)2556
舟形・長沢地区 ☎(35)2144

交通手段が不便



いつまでも健康でいたい



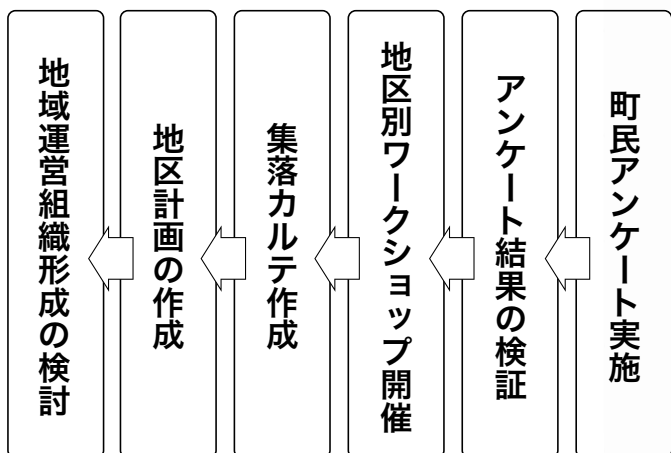
将来の生活が不安

地区計画とは

地区計画は、自分たちの地域をどうしていきたいのかを考えてもらうなど、地域の課題の解決方法や将来像を実現していく方法などをまとめたものです。地域住民と町が知恵を出し合い、それぞれの役割や責任を再確認し、住民のみなさんが自分たちで地域の現状や課題を洗い出す必要があります。

住民ニーズの多様化・高度化、厳しい経済状況、本格的な地方分権などにより、的確に対応していくためには、これまでのような行政主導による一律のまちづくりでは限界がきています。

なお、少子高齢化や人口減などの現状を鑑みると、町内会単位の枠組みを越えて作成する必要がある、自然的、社会的、経済的及び文化的条件を勘案して、各地区(旧小学校区)ごとに作成することが望ましいと考えます。



住民主体 の協働のまちづくりへ